

# IntraGuardian2<sup>+</sup> Manager Professional

Version 3.6.2

## インストールガイド

第5版

2021年2月1日

日本シー・エー・ディー株式会社

# 目次

はじめに	3
本書についてのご注意	3
お願いとご注意	3
知的財産権等	3
免責事項について	3
ソフトウェア使用許諾契約	4
<b>1. 事前に確認すること</b>	<b>5</b>
1-1. インストール環境	5
1-2. ミドルウェアの確認	5
1-3. ライセンス登録	5
1-4. ブラウザの注意事項	6
1-5. ファイアウォールの注意事項	6
<b>2. PostgreSQLのインストール</b>	<b>7</b>
2-1. PostgreSQLのインストーラーを入手する	7
2-2. PostgreSQLのインストーラーを実行する	8
2-3. PostgreSQLのチューニングをする	8
<b>3. 本ソフトウェアのインストール</b>	<b>9</b>
3-1. インストーラーを入手する	9
3-2. インストーラーを実行する	9
<b>4. 初期セットアップ</b>	<b>12</b>
《注意事項: データベース名の制限》	13
<b>5. ライセンス登録</b>	<b>17</b>
<b>6. 本ソフトウェアのアンインストール</b>	<b>18</b>
<b>7. 本ソフトウェアのバージョンアップ</b>	<b>20</b>
<b>Annex1. Internet Explorerの設定変更</b>	<b>21</b>
<b>Annex2. PostgreSQLのアンインストール</b>	<b>23</b>
<b>改定履歴</b>	<b>26</b>

## はじめに

この度は、不正接続検知／排除システム IntraGuardian2+ Manager Professionalをご利用いただき、誠にありがとうございます。本文書では、IntraGuardian2+ Manager Professionalのインストール、アンインストール、バージョンアップを行う方法について説明します。

インストール後の運用操作、設定方法については別紙の「IntraGuardian2+ Manager Professional ユーザーマニュアル」をご参照ください。

## 本書についてのご注意

- 本ガイドの内容をその一部であっても無断転載することは禁止されています。
- 本ガイドの内容は、将来予告なく変更することがあります。

## お願いとご注意

- 本ソフトウェアの無断複製・解析は禁止されています。
- 本ソフトウェアに使用されている意匠、商標の無断使用は禁止されています。
- 本ソフトウェアの転用は禁止されています。
- 本ソフトウェアは日本国内の使用を前提として設計・開発・製造されていますので、海外では使用しないでください。
- 本ソフトウェアは、一般的な情報通信回線用途として設計・製造されています。従って、生命、財産に著しく影響を及ぼすため高信頼性を要求される、制御・監視等のシステム（原子力発電設備、医療設備等の動作を制御、または監視するシステム等）の用途では使用しないでください。

## 知的財産権等

- IntraGuardian は日本シー・エー・ディー株式会社の登録商標（第5288137号）です。
- 本ソフトウェアに搭載されている不正接続検知／排除システムに関する著作権その他の知的財産権は、日本シー・エー・ディー株式会社が所有するものです。
- Windows, Internet Explorer は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

## 免責事項について

- 本ソフトウェアの使用または使用不能から生ずる一切の損害（情報内容の変化、情報の喪失、事業利益の喪失、事業の中断、他製品・システムへの損害などを含む）に関して、当社は責任を負いかねますので予めご了承ください。
- 地震、雷、風水害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意、過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますので予めご了承ください。
- 本ガイドの記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますので予めご了承ください。
- 当社指定外の機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作から生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますので予めご了承ください。

## ソフトウェア使用許諾契約

IntraGuardian2+ Manager Professional(以下、「本ソフトウェア」といいます)は、不正接続検知／排除システム IntraGuardian用の集中管理ソフトウェアです。

また、IntraGuardianは、日本シー・イー・ディー株式会社(以下、「NCAD」といいます)の商標です。

### 1. 使用許諾

1. 本ソフトウェアは、使用許諾されるものであり、販売されるものではありません。
2. お客様には、お客様に設置されているIntraGuardianの集中管理を目的として、IntraGuardianと共に本ソフトウェアを使用する非独占的な権利が許諾されます。お客様は、当該目的以外では、本ソフトウェアを一切使用できません。
3. お客様は、本ソフトウェアを改変または複製できません。本ソフトウェアをベースにしたソフトウェアを作成することもできません。

### 2. 著作権等

1. 本ソフトウェアに関する著作権その他の知的財産は、NCADが所有しております。
2. 本ソフトウェアに関する著作権その他のいかなる知的財産もお客様に譲渡されるものではありません。
3. お客様は、本ソフトウェアおよびその関連資料に使用されている著作権表示、商標その他の表示を除去できません。

### 3. リバースエンジニアリング

お客様は、自身でまたは第三者を介して、本ソフトウェアのリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行うことができません。

### 4. 使用中止

お客様がIntraGuardianを使用しなくなった場合、お客様はIntraGuardianの集中管理データを維持・管理する目的で本ソフトウェアを使用する以外では、本ソフトウェアを一切使用できません。

### 5. 非保証・責任の限定

1. NCADは本ソフトウェアに関して、その品質および性能に関する保証を含め、いかなる明示または黙示の保証も致しません。
2. NCADは、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じたお客様の損害等について一切責任を負いません。

### 6. 輸出管理

お客様は、本ソフトウェアに関し、日本の外国為替及び外国貿易法ならびに関係法令(以下、「法令等」といいます)を順守し、法令等に基づく許可およびNCADの承認なく、本ソフトウェアを直接または間接的に輸出(海外への持ち出しを含む)しないものとします。

### 7. NCADの権利

お客様は、NCADが自己の名義で本契約に基づき権利を行使できることを了承します。

### 8. 管轄裁判所

本ソフトウェア契約に関し紛争が生じた場合、東京地方裁判所を管轄裁判所とするものとします。

以上

日本シー・イー・ディー株式会社  
〒161-0033 東京都新宿区下落合2-14-1 CADビル

# 1. 事前に確認すること

## 1-1. インストール環境

OS	Microsoft Windows Server 2012R2、2016、及び2019
CPU	Intel Core iシリーズ以上の マルチコア
メインメモリ	8GB以上
ストレージ	100GB以上の空き
(作業端末用モニター)	SXGA (1280 x 1024) 以上

## 1-2. ミドルウェアの確認

本ソフトウェアにデータベース機能は含まれていません。RDBMS(※1)のPostgreSQLがサーバーにインストールされていない場合、後述する【2. PostgreSQLのインストール手順】に従ってインストールを行ってください。また、.Net Framework4.5以上(※2)を必要としますので、サーバーOSにインストールされていない場合はインストールを行ってください。

※1 リレーショナルデータベースマネジメントシステムの略

※2 Windows Server 2012R2、2016、及び2019は、特にインストールを行う必要はありません。

## 1-3. ライセンス登録

本ソフトウェアの全機能を利用するためには、購入時に配布される「ライセンス登録名」と「ライセンスコード」が必要です。登録手順は別紙の《IntraGuardian2+ Manager Professional スタートアップガイド》をご覧ください。

※登録を行わずに使用すると、IntraGuardianとの接続数などの動作に制限がある「お試し版」として動作します。お試し版を使用する場合、本ソフトウェアに関するサポートの一切を受けることが出来ません。

## 1-4. ブラウザの注意事項

本ソフトウェアは一般のWEBブラウザソフトを使って操作を行います。このときWindows ServerのInternet Explorerからログインする場合、設定変更を行う必要があります。

※Windows Pro(Professional)版のInternet Explorerからログインする場合、基本的に変更する必要はありません。

※Internet Explorerの設定変更については、後述の【Annex1. Internet Explorerの設定変更】を参照してください。

## 1-5. ファイアウォールの注意事項

本ソフトウェアは、WEBユーザーインターフェースに TCP 10080番ポート(※)を、IntraGuardianとの通信に TCP 17777番ポートを利用します。いずれも「ig2mla.exe」というアプリケーションが受信を待ち受けしているため、ファイアウォールの例外を設ける必要があります。

※WEBユーザーインターフェース用のポート番号は、【4. 初期セットアップ】中の「9. UI使用ポート番号」で変更することができます。

※本ソフトウェアのサービス起動時に、WEBユーザーインターフェース用は「IG2MLA-HTTP」、IntraGuardianとの通信用は「IG2MLA-IGIP」という名前のWindowsファイアウォール受信規制ルールを追加します。セキュリティ対策ソフトウェアなどが独自のファイアウォール制御をしている場合、TCP 10080番とTCP 17777番が「ig2mla.exe」で自由に受信できるよう、セキュリティ対策ソフトウェアの設定変更を行なってください。またネットワーク環境においても、IntraGuardianから本ソフトウェアが動作しているサーバーのTCP 17777番ポートにアクセスできるよう設定を行ってください。

## 2. PostgreSQLのインストール

本ソフトウェアを使用する上で必要な、PostgreSQLのインストールを先に行います。

※PostgreSQLの入手方法・バージョン・及びインストール手順は2021年2月1日現在の情報であり、予告なく変更される場合があります。

### 2-1. PostgreSQLのインストーラーを入手する

1. ブラウザで下記アドレスへアクセスします。

Download PostgreSQL

<https://www.enterprisedb.com/downloads/postgres-postgresql-downloads>

#### PostgreSQL Database Download

Version	Linux x86-64	Linux x86-32	Mac OS X	Windows x86-64	Windows x86-32
13.2	N/A	N/A	<a href="#">Download</a>	<a href="#">Download</a>	N/A
12.6	N/A	N/A	<a href="#">Download</a>	<a href="#">Download</a>	N/A
11.11	N/A	N/A	<a href="#">Download</a>	<a href="#">Download</a>	N/A
10.16	<a href="#">Download</a>	<a href="#">Download</a>	<a href="#">Download</a>	<a href="#">Download</a>	<a href="#">Download</a>
9.6.21	<a href="#">Download</a>	<a href="#">Download</a>	<a href="#">Download</a>	<a href="#">Download</a>	<a href="#">Download</a>
9.5.25	<a href="#">Download</a>	<a href="#">Download</a>	<a href="#">Download</a>	<a href="#">Download</a>	<a href="#">Download</a>

2. OSに対応したPostgreSQL Windows x86-64 に対応する「**Download**」をクリックします。

※現時点では、バージョン13.x以上の動作確認を行っていませんので、バージョン12.xまでのものをご利用ください。

3. ページが切り替わり、インストーラーのダウンロードが開始されます。

※お客様のネットワーク環境によっては、ダウンロードに時間を要する場合があります。

Thank You For Downloading PostgreSQL  
Now that you have downloaded Postgres, get started using it  
If your download does not begin automatically, [start the download now](#)

## PostgreSQL Tutorials, Resources and Training

For Developers, DBAs, DevOps and IT Managers

### 2-2. PostgreSQLをインストールする

ダウンロードしたインストーラーを実行してください。インストールフォルダ、データフォルダはお客様の環境に合わせて頂き、それ以外のパラメーターは全てデフォルト値で問題ありません。

### 2-3. PostgreSQLのチューニングをする

接続するIntraGuardianが40台を超える場合、PostgreSQLのパラメーター変更が必要になります。以下のURLにアクセスして、パラメータを決定して postgresql.conf に反映し、PostgreSQLのサービスを再起動してください。

<https://pgtune.leopard.in.ua/#/>

DB Version:

Postgresのバージョン

OS Type:

Windows

DB Type:

Web Application

Total Memory:

サーバーのメモリサイズ

Number of CPUs:

CPUのコア数

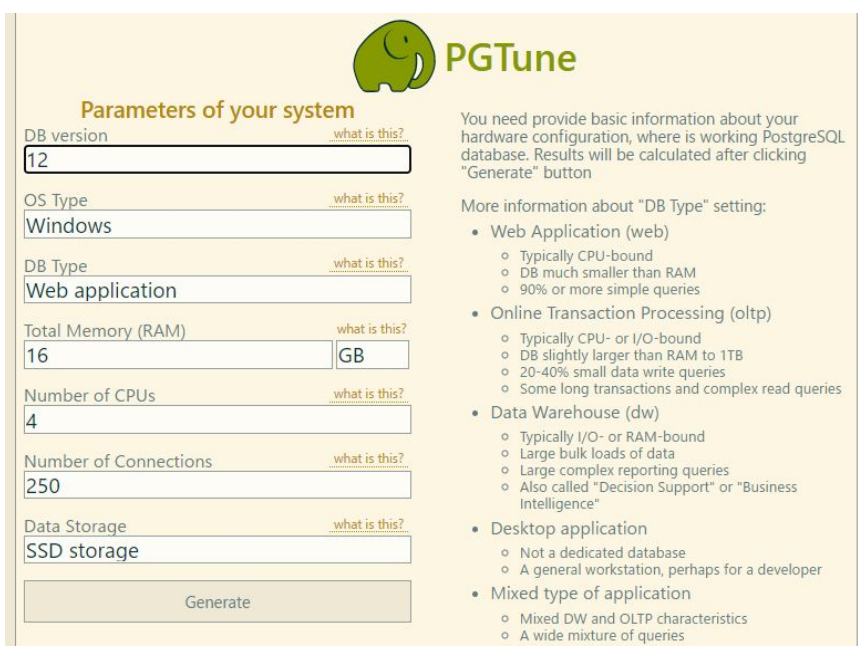
Number of Connections:

IntraGuardianの台数 × 2 + 20

VLAN版はVLAN数をカウント

Data Storage:

サーバーのストレージ種別



The screenshot shows the PGtune website interface. It features a green elephant logo and the text 'PGTune'. The main section is titled 'Parameters of your system' and contains several input fields with 'what is this?' links: DB version (12), OS Type (Windows), DB Type (Web application), Total Memory (RAM) (16 GB), Number of CPUs (4), Number of Connections (250), and Data Storage (SSD storage). A 'Generate' button is at the bottom. To the right, there is explanatory text and a list of 'DB Type' settings: Web Application (web), Online Transaction Processing (oltp), Data Warehouse (dw), Desktop application, and Mixed type of application, each with sub-points describing typical characteristics.



## 3. 本ソフトウェアのインストール

本ソフトウェアのインストールを行います。

※再インストールを行う場合、【6. 本ソフトウェアのアンインストール】を行った後に本項を参照してください。

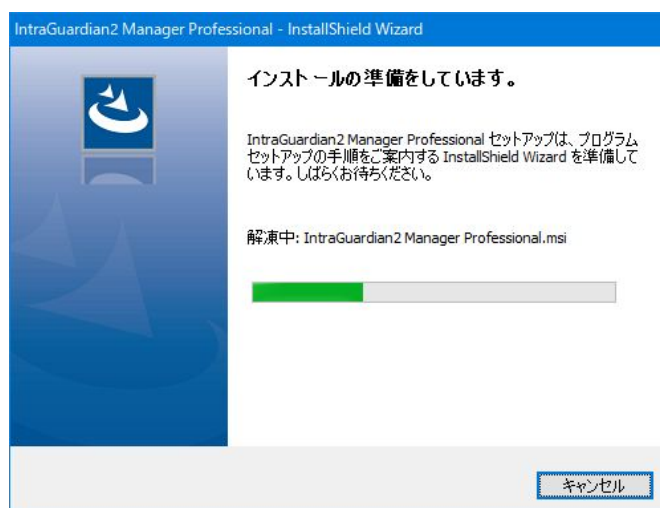
### 3-1. インストーラーを入手する

下記アドレス（公式サイト）のサポートから、「IntraGuardian2+ Manager Professional ソフトウェア」を入手します。

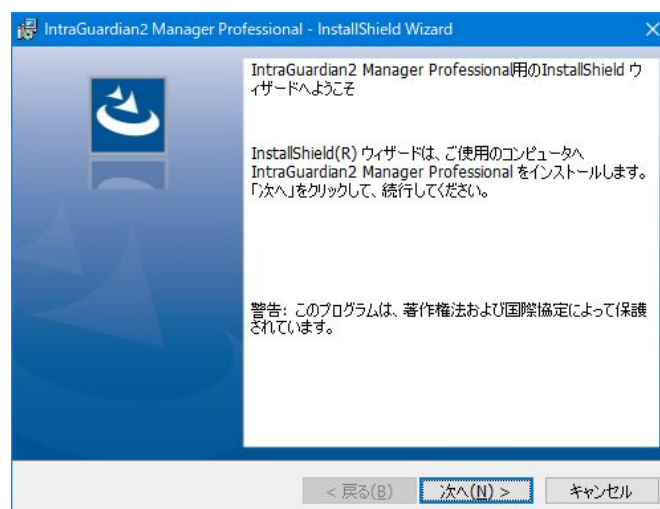
<https://intraguardian.jp/>

### 3-2. インストーラーを実行する

1. 入手したインストーラーのアイコンをダブルクリックして起動すると、「インストールの準備をしています。」のウィンドウが表示されるので、しばらくお待ちください。

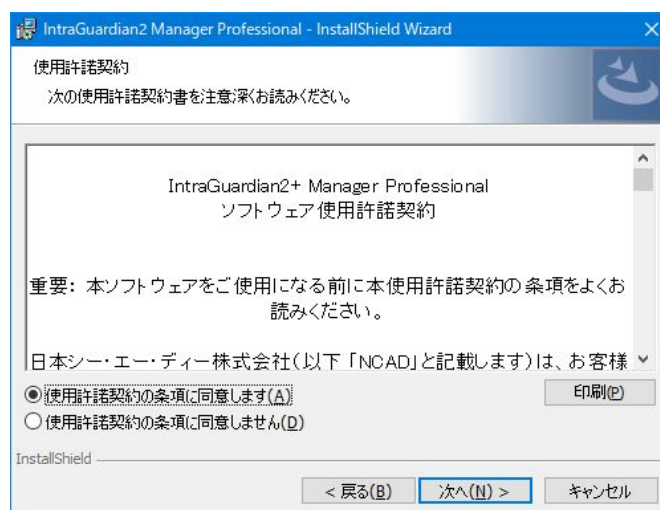


2. 「IntraGuardian2 Manager Professional用のInstallShieldウィザードへようこそ」が表示されるので、「次へ(N) >」をクリックします。



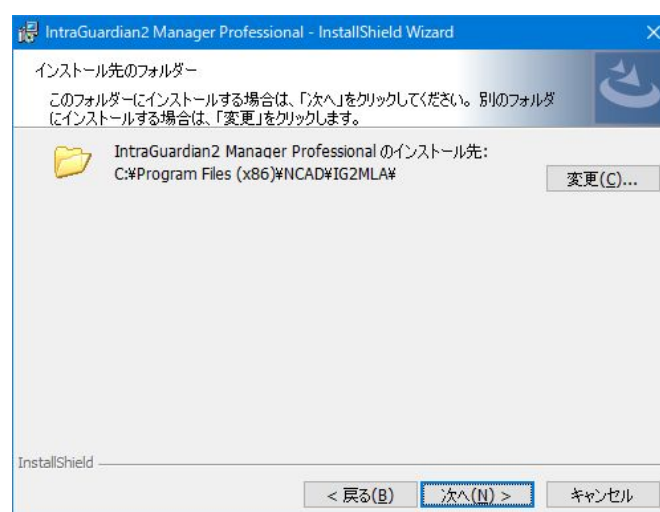
3. 「使用許諾契約」が表示されるので、内容をお読み頂き、条項に同意した上で「使用許諾契約の条項に同意します」にチェックを入れ、「次へ(N) >」をクリックします。

※「使用許諾契約の条項に同意しません」を選択した場合、本ソフトウェアは使用できません。

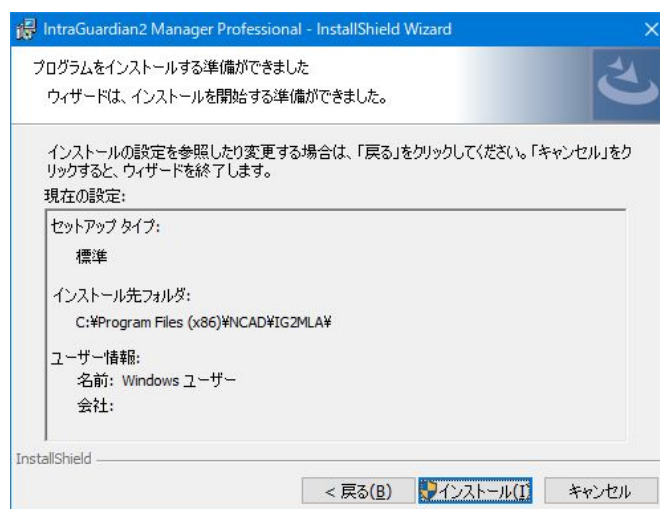


4. 「インストール先のフォルダー」が表示されるので、「次へ(N) >」をクリックします。

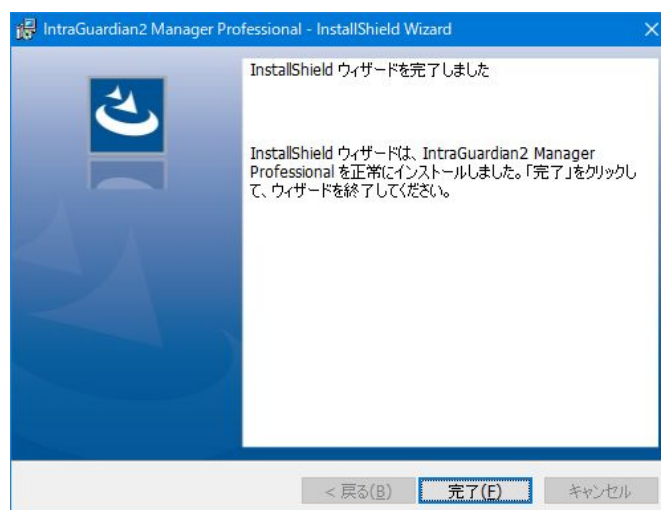
※「変更(C)...」をクリックすると、インストール先を変更する事が可能ですが、通常は変更しないでください。



5. 「プログラムをインストールする準備ができました」が表示されます。「インストール(I)」をクリックするとユーザーアカウント制御のウィンドウが表示されるので、「はい」を選択するとインストールを開始します。



6. しばらくすると「InstallShield ウィザードを完了しました」が表示されるので、「完了(F)」をクリックするとインストールが完了します。



## 4. 初期セットアップ

新規インストール後に必須となる初期セットアップを行います。

### ※再インストール時の注意

本ソフトウェアを利用後に再インストールを行った場合、ログイン後に初期セットアップは**スキップ**され、管理画面が表示されます。再インストール時であるにもかかわらず、初期セットアップ画面がスキップされずに表示された場合、データベースが破損している等の理由でアクセスできない状態が考えられます。**既存のデータベースを再利用する場合、初期セットアップを進めるとデータベースを失う可能性があります。**

### 1. ログイン画面にアクセスする

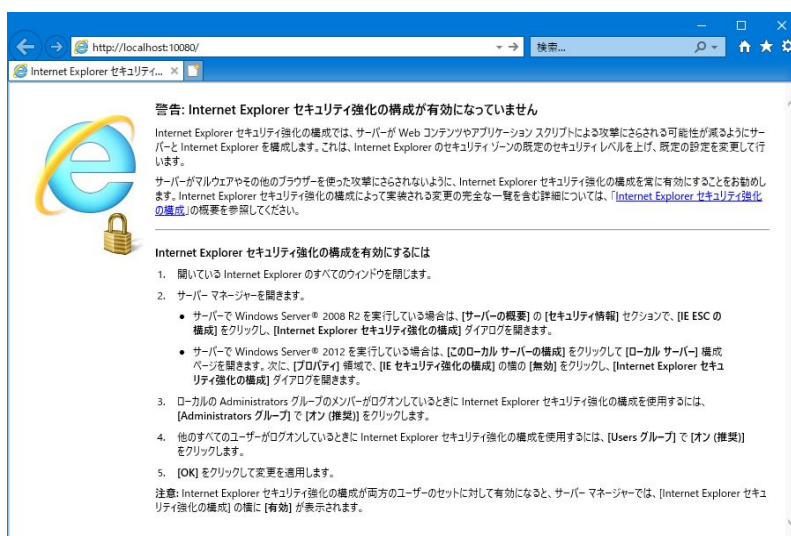
WEBブラウザのアドレスバーに

<http://localhost:10080/> と入力し、エンターキーを押します。

他の端末からアクセスする場合、localhostを本ソフトウェアをインストールしたサーバーのアドレスに置き換えます。

### ※IPアドレスの一例:

<http://192.168.0.1:10080/>



IntraGuardian2+ Manager Professionalのログイン画面が表示されるので、以下の初期設定を入力してログインします。

### 《初回ログイン情報》

ID	admin
Password	admin

### 2. 初期設定作業開始

新規インストールを行った場合、初期セットアップが始まります。

「次へ進みます」をクリックします。

### 初期セットアップ

#### ◆ 初期設定作業開始

IntraGuardian2 Manager Professionalの初期設定作業をはじめます。

主にデータベースの作成や初期化を行ない、IntraGuardian2 Manager Professionalが利用できるようにセットアップします。

次へ進むと、IntraGuardianとの通信などの内部処理を一時的に停止します。再度本プログラムを起動し直すまでこれらの内部処理は停止したままになります。

次へ進みます 何もしないでログアウトします

### 3. ライセンスの入力

ライセンス情報の登録を行います。  
有効なライセンス登録名とライセンスコードを入力して「次へ進みます」をクリックします。

**初期セットアップ**

★ **ライセンスの入力**

ライセンスコードをお持ちの方は、ライセンス登録名とライセンスコードを入力してください。  
ライセンス登録名を空欄にすると、お試し版として使用することができます。その場合、後でライセンスを登録することができます。

ライセンス登録名:

ライセンスコード:

次へ進みます  一つ前に戻ります

ライセンス登録名	正規に発行された、有効なライセンス登録名を入力します。
ライセンスコード	上記登録名に対応する、有効なライセンスコードを入力します。

※本欄を空欄のままにして初期設定を行うと、試用期間限定で一部機能に制限のある無償の「お試し版」ライセンスとしてお使いいただけます。

後述の5章「ライセンスの登録」で詳しく説明しますが、「お試し版」の無償ライセンスで利用を開始した後でも、マネージャの「メンテナンス」画面の「ライセンスコード」タブ画面から、有効なライセンス登録名とコードを入力することにより、有償ライセンスを付与された正規ユーザーとしてご利用を継続することが可能です。

### 4. データベース名の設定

データベース名の設定を行います。

有効なライセンスが入力されました。

**初期セットアップ**

★ **データベース名の設定**

IntraGuardian2 Manager Professional で利用するデータベースの名前と、そのデータベースにアクセスする時に使うユーザーIDとパスワードを指定してください。  
指定したデータベースおよびユーザーがまだ登録されていない時は、次の画面で作成することができます。

データベースサーバ:

データベース名:

ユーザーID:

パスワード:

\* 本欄を書き換えずに次に進むと、以前設定したパスワード（または本システムのデフォルトのパスワード）が用いられます。

次へ進みます  一つ前に戻ります

データベースサーバ	PostgreSQLをインストールしたサーバーのIPアドレスを入力します。 本ソフトウェアとPostgreSQLを同一のサーバーにインストールした場合は「localhost」と入力します。
データベース名	データベース名を入力します。
ユーザーID	データベースを管理するユーザー名を入力します。
パスワード	上記ユーザーが使用するパスワードを入力します。

#### 《注意事項: データベース名の制限》

データベース名を設定する際、下記の制限があります。

- ・使用できる文字種は「英数字小文字」(a-z, 0-9)と「ハイフン・アンダースコア」のみです。
- ・上記に加え、データベース名の先頭文字については、英小文字のみ(a-z)使用可能です。
- ・データベース名設定時に、無効な制限文字種が入力できないようチェックが行われます。

## 5. データベースの新規作成

データベースの新規作成を行います。  
PostgreSQLのインストール時に入力したユーザID(postgres)とパスワードを入力し、「はい、作成します」をクリックします。

### 初期セットアップ

**データベース新規作成**

サーバ('localhost'上に、'ig2m')という名前のデータベースを新たに作成します。  
このサーバでデータベースを新規作成することができる。IDとパスワードを入力してください。  
このIDとパスワードは、データベースを作成する時だけ用いられ、本システムはその内容を保存しません。  
(IntraGuardian2 Manager Professionalで今後使用するIDやパスワードとは全く関係ありません。不明の場合は、データベースサーバ管理者にお問い合わせください。)

データベース作成ユーザID:

データベース作成パスワード:

作成しますか?

データベース作成ユーザID	postgres
データベース作成パスワード	前項のPostgreSQLのインストールウィザードで設定したパスワード

※データベース作成ユーザIDに、ブラウザの自動入力機能によって「ig2m」など他の文字列が入力されている場合、「postgres」に修正してください。

## 6. データベース削除

新規インストールの場合、表示されません。

### 初期セットアップ

**データベース削除**

サーバ('localhost'上に、'ig2m')という名前のデータベースが既に存在しています。  
このデータベースを削除しますか?  
なお、このデータベースを削除すると、データベース内のすべてのデータは失われます。

※再インストール等の理由により、「3. データベース名の設定」で入力したデータベース名がPostgreSQL上に存在しているときに表示されます。既存のデータベースを削除しても問題がない場合は「はい、削除します」をクリックします。

※「いいえ、削除せずに進みます」をクリックして進んだ場合、動作保証は致しかねます。

## 7. テーブルの作成

テーブルの作成を行います。  
新規インストールの場合、「はい、作成します」をクリックします。

データベースig2mを作成しました。

### 初期セットアップ

**テーブルの作成**

データベース内に、IntraGuardian2 Manager Professional用のテーブルを作成します。  
なお、既にテーブルが存在する場合は、そのテーブルは全て削除され、足りないテーブルだけが作成されます。  
作成しますか?

30個のテーブルを作成しました。

### 初期セットアップ

**データベース内容の初期化**

データベース内容を初期化し、IntraGuardian2 Manager Professionalの初期状態にします。  
既存の設定内容はすべて消去されます。  
データベースを初期化してよろしいですか?

## 8. データベース内容の初期化

データベース内容の初期化を行います。  
データベースの内容を初期化し、本ソフトウェアで使用可能な状態にします。  
新規インストールの場合、「はい、初期化します」をクリックします。

## 9. 全権管理者アカウント作成

当アカウントを使用すると、インストール後に本ソフトウェアの全操作が可能となります。また、インストール後に当アカウントでログインした時のみ、当アカウントの設定内容を変更する事もできます。

初期データを挿入しました。

**初期セットアップ**

★ 全権管理者アカウント作成

IntraGuardian2 Manager Professionalのすべての管理を行なうことができる全権管理者を作成します。  
ログインIDとパスワードには半角英数字と'\_'(アンダーバー)のみ使用できます。

全権管理者 名前:	<input type="text" value="スーパーユーザ"/>
全権管理者 ログインID:	<input type="text" value="admin"/>
全権管理者 パスワード:	<input type="password" value="*****"/>
全権管理者 パスワード (再入力):	<input type="password" value="*****"/>

全権管理者のアカウントを作成しますか?

全権管理者 名前	全権管理者の名前(任意)を決めて入力します。 全角文字も使用できます。
全権管理者 ログインID	同ログインID(任意)を決めて入力します。 決められた半角文字のみ使用できます。
全権管理者 パスワード	同パスワード(任意)を決めて入力します。 決められた半角文字のみ使用できます。
全権管理者 パスワード(再入力)	確認のため、パスワードを再入力します。

全ての入力が完了したら「はい。作成します」をクリックします。

## 10. UI使用ポート番号

UI使用ポート番号を設定します。  
新規インストールの場合、「はい。変更します」をクリックします。  
使用環境に応じて任意の値を入力する事も可能です。

全権管理者を登録しました。

**初期セットアップ**

★ UI使用ポート番号

UIで使用するポート番号を設定します。  
変更は本アプリの再起動後に有効になります。

ポート番号:

ポート番号を変更しますか?

※IISなど他のサービスで使用しているポート番号を指定すると、本ソフトウェアが正しく動作しません。他のサービスで使用していない番号を指定してください。

## 11. 初期設定作業完了

初期設定作業が完了しました。

「プログラムを再起動する」をクリックすると本ソフトウェアが再起動します。

UI用ポート番号を登録しました。  
変更は本アプリを再起動後に有効になります。

**初期セットアップ**

★ 初期設定作業終了

IntraGuardian2 Manager Professionalの初期設定作業を完了しました。  
「プログラムを再起動する」ボタンをクリックすると、本プログラムを再起動し、IntraGuardian2 Manager Professionalが使える状態になります。

## 12. 再起動待ち

本ソフトウェアを再起動しています。  
ログイン画面が表示されるまで待機します。  
ログイン画面が表示されたら、管理者アカウント  
にてログインが可能となります。  
管理者アカウント以外も作成する場合、別紙の「  
IntraGuardian2+ Manager Professional スタートアップガイド」を参照してください。

初期セットアップは以上で終了です。

### 初期セットアップ

#### ✦ 再起動待ち

IntraGuardian2 Manager Professionalを再起動しています。  
27秒後にログイン画面に変わります。



## 5. ライセンス登録

IntraGuardian2+ Manager Professionalには、有償ライセンスと無償ライセンスの2つのライセンスが存在し、いずれもサポートサイト <https://intraguardian.jp/> から発行を申請できます。

ライセンスが発行されたら、本章の説明に従ってライセンスコードを登録してください。

なお、ライセンス登録をするまでは「お試し版」として利用することが可能です。「お試し版」では、IntraGuardianを登録できる数に制限があるなど一部機能に制限がかかり、試用期間も限定されます。

### ライセンスコードの入力

#### 《初期設定時》

4章「初期セットアップ」の「3.ライセンスの入力」にあるように、通常は初回セットアップの際に有効なライセンス登録名とコードを入力してください。

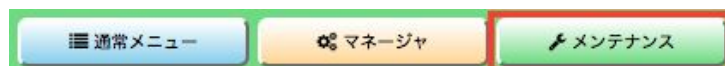
#### 初期セットアップ

★ライセンスの入力	
ライセンスコードをお持ちの方は、ライセンス登録名とライセンスコードを入力してください。	
ライセンス登録名を空欄にすると、お試し版として使用することができます。その場合、後でライセンスを登録することができます。	
ライセンス登録名:	<input type="text"/>
ライセンスコード:	<input type="text"/>
<input type="button" value="次に進みます"/> <input type="button" value="一つ前に戻ります"/>	

#### 《初期設定完了後》

初期設定の時と同様に、WEBブラウザから [http://\[本ソフトウェアをインストールしたIPアドレス\]:10080/](http://[本ソフトウェアをインストールしたIPアドレス]:10080/) にアクセスします。ログイン画面が表示されたらIDとパスワードを入力してログインします。

トップメニューの「メンテナンス」をクリックします。



するとサブメニューが下記のように変わりますので、「ライセンスコード」をクリックし表示します。



「お試し版」利用ではライセンスコードが未入力のため、「現在有効なライセンスコードが登録されていません」と表示されます。

#### ライセンスコード

現在有効なライセンスコードが登録されていません

※「お試し版」無償ライセンスの試用期限が「有効期限」として表示されます。

#### ライセンスコード登録

ライセンス登録名	お試し版
ライセンスコード	<input type="text"/>
有効期限	2018/05/25 08:29:56 (UTC)
<input type="button" value="ライセンスコードを登録する"/>	

有効な「ライセンス登録名」「ライセンスコード」を入力し、「ライセンスコードを登録する」をクリックすると認証されます。

#### ライセンスコード

ライセンスコードを登録しました

※ライセンス登録名は空白や全角／半角の違いを含め、申請されている名称と全く同じで登録しないと認証できませんのでご注意ください。

#### ライセンスコード登録

ライセンス登録名	NCAD
ライセンスコード	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
有効期限	無期限
<input type="button" value="ライセンスコードを登録する"/>	

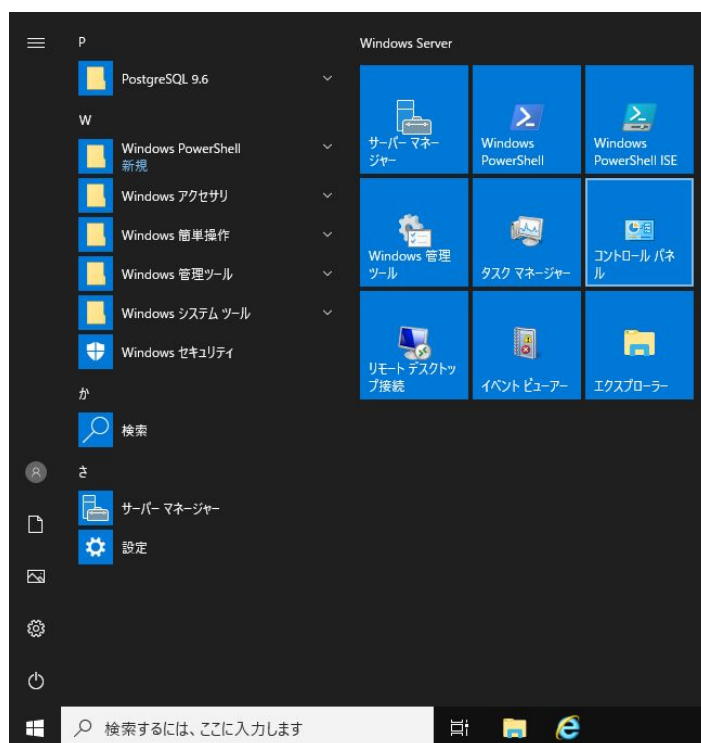
## 6. 本ソフトウェアのアンインストール

本ソフトウェアの使用を中止する場合、本手順に従って削除してください。

※アンインストールを行っても本ソフトウェアの設定ファイルは削除されませんので、再インストールを行う事によって以前の設定を復元することができます。

※セクションや端末の登録情報などは本ソフトウェアではなく、PostgreSQLのデータベース内に入っています。アンインストールを行ってもデータベース内のデータは削除されません。

1. スタートメニュー左クリックして開きます。更に、右側のコントロールパネルをクリックして開きます。

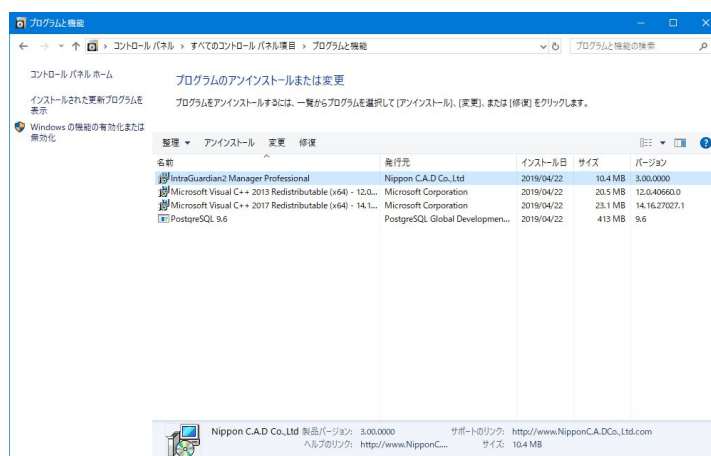


2. 左下の「プログラムのアンインストール」をクリックします。

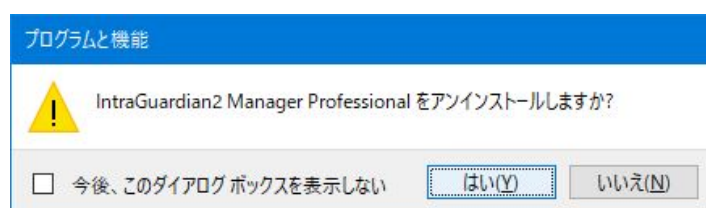
※コントロールパネルの表示方法をアイコンに変更してある場合は「プログラムと機能」をクリックします。



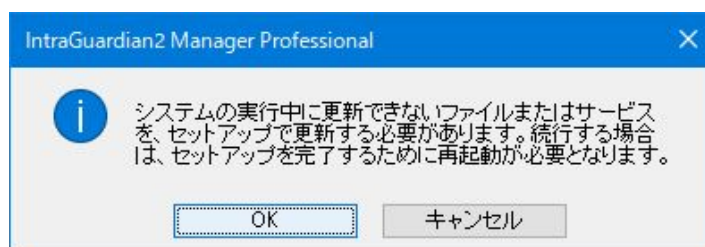
3. 一覧から「IntraGuardian2 Manager Professional」をクリックして選択した後、「アンインストール」をクリックします。



4. 「IntraGuardian2 Manager Professional をアンインストールしますか？」のウィンドウが表示されるので、アンインストールしてよければ「はい(Y)」をクリックします。



5. 「～再起動が必要となります。」のウィンドウが表示されるので、「OK」をクリックします。この後、Windowsの再起動を促された場合は、指示に従って再起動を行ってください。



## 7. 本ソフトウェアのバージョンアップ

本ソフトウェアのバージョンアップ手順を説明します。

※お使いのバージョンはログイン画面で確認することができます。最新版の場合、バージョンアップを行う必要はありません。

### 1. アップグレードファイルの入手

本ソフトウェアのバージョンアップの際には、新規インストール用とは異なる「アップグレード用ファイル」が必要です(アップグレード用ファイルのファイル名は拡張子“.bin”で終わります)。

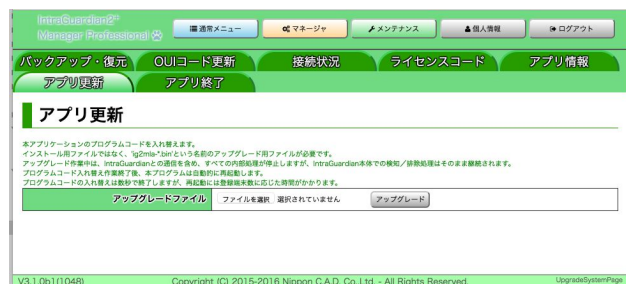
アップグレード用ファイルは、サポートサイト <https://intraguardian.jp/> のダウンロードページから入手できます(ライセンス登録時に発行されるIDとパスワードが必要です)。

無償版をお使いなどの理由でアップグレード用ファイルを入手できない場合は、古いバージョンを一度アンインストールしてから新しいバージョンをインストールし直してください。

### 2. バージョンアップ

全権管理者としてログインし、メンテナンスメニュー内の「アプリ更新」画面を表示します。

入手したアップグレード用ファイルを選択し、「アップグレード」ボタンをクリックします。



本プログラムファイルが更新され、自動的に再起動するので、再度ログインしなおして動作を確認してください。

### 3. Windowsの再起動

バージョンアップが完了したら、必ずWindowsを再起動してください。

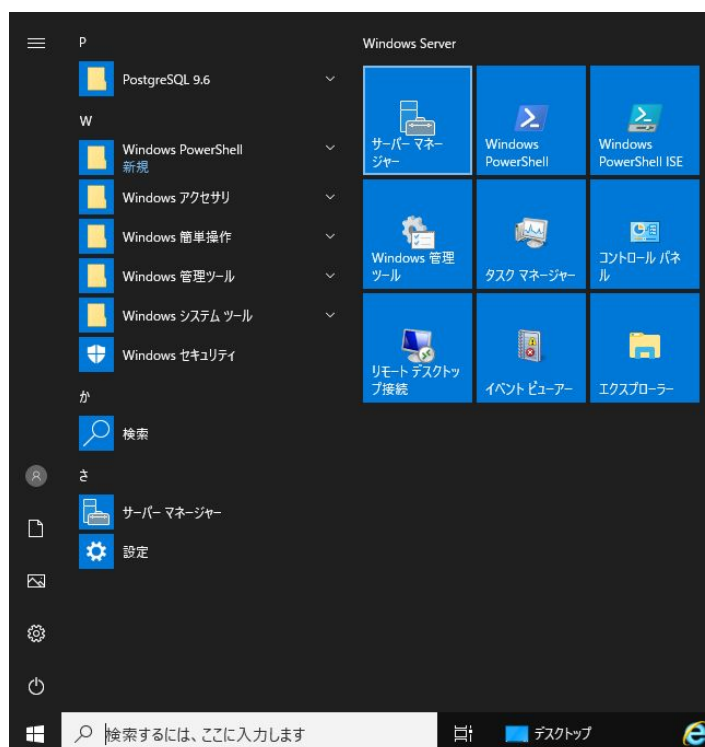
## Annex1. Internet Explorerの設定変更

Windows Serverのバージョンによっては、Internet Explorerを使用して本ソフトウェアへログインしようとすると、ブロックのウィンドウが表示されてログインできない場合があります。本項では、そのような場合に必要な設定変更について説明します。

※Windows Serverのバージョンやインストール状態によっては本説明とは異なる画面が表示されることがあります。本節の情報は参考とし、詳しくはMicrosoftなどにお問い合わせください。

※Windows 10などのクライアントOSは、標準でログイン可能なので設定変更を行う必要はありません。

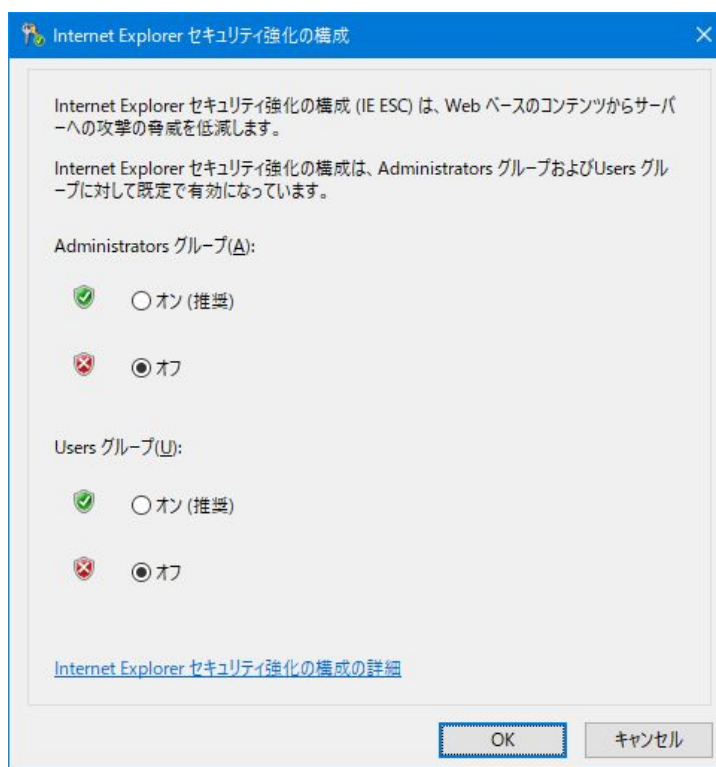
1. デスクトップ左下のスタートメニューから、サーバーマネージャーをクリックします。



2. 左ペインの「ローカル サーバー」をクリックし、次に右ペインの「IE セキュリティ強化の構成」の「有効」をクリックします。



3. Internet Explorer セキュリティ強化の構成のウィンドウが表示されるので、ラジオボタン2箇所を「オフ」に変更して「OK」ボタンをクリックします。



4. サーバー マネージャーを終了します。

以上で、Windows ServerにおけるInternet Explorerの設定は完了です。これで、本ソフトウェアへログイン可能になります。

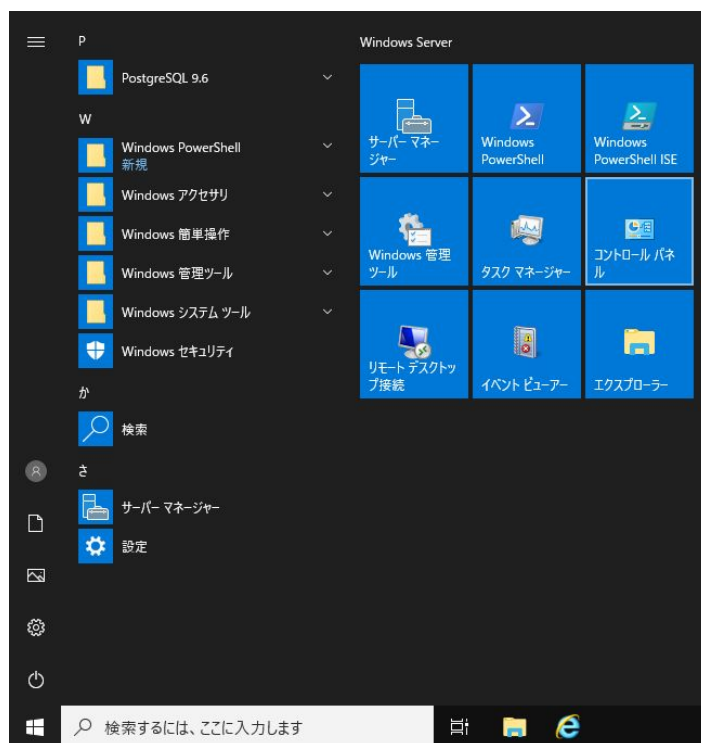
## Annex2. PostgreSQLのアンインストール

本節ではPostgreSQLのアンインストール方法について説明します。PostgreSQLのバージョンや利用したインストーラーなどの違いにより、本説明とは異なる画面などが表示されることがあります。本節の情報は参考とし、詳しくは PostgreSQLインストーラーの提供元などにお問い合わせください。

**※本手順でPostgreSQLのデータベースファイルは削除されません。データベースファイルの完全な削除の方法は、PostgreSQLの提供元などにお問い合わせください。**

**なお、データベースファイルの削除操作はWindowsのシステムフォルダへアクセスする必要があるため、**最悪Windowsを破損する恐れがあります。****

1. スタートメニュー左クリックして開きます。更に、右側のコントロールパネルをクリックして開きます。

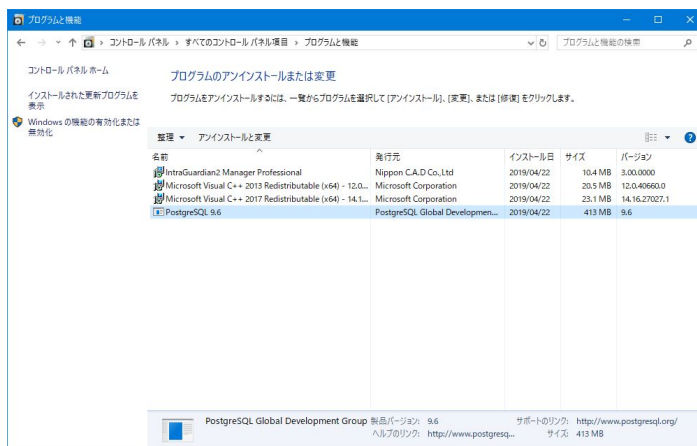


2. 左下の「プログラムのアンインストール」をクリックします。

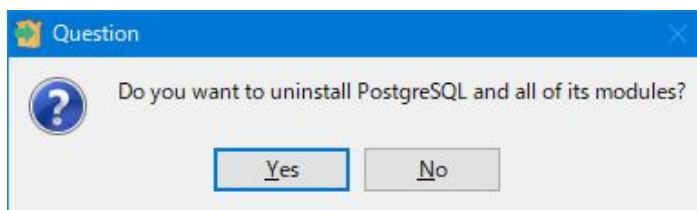
**※コントロールパネルの表示方法をアイコンに変更してある場合は「プログラムと機能」をクリックします。**



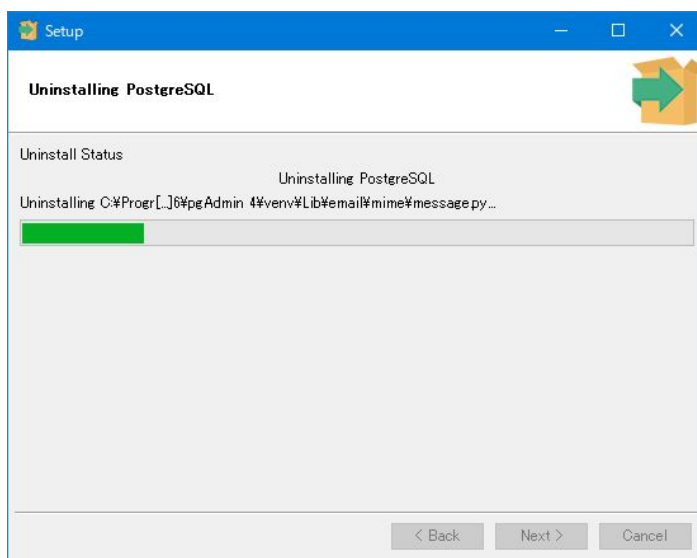
3. 一覧から「PostgreSQL x.x」をクリックして選択した後、「アンインストールと変更」をクリックします。その後、ユーザーアカウント制御のウィンドウが表示されるので「はい」をクリックします。



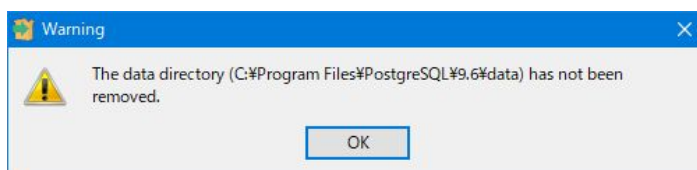
4. Questionウィンドウが表示されるので、アンインストールしてもよろしければ「Yes」をクリックします。



5. Uninstalling PostgreSQLのウィンドウが表示されます。お客様の環境によっては削除に時間がかかることがあります。しばらく待機します。

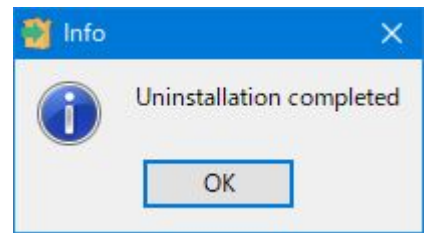


6. Warningのウィンドウが表示されますが、「OK」をクリックします。





7. Infoのウィンドウが表示されると、PostgreSQLのアンインストール完了となります。  
「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じます。



## 改定履歴

第1版:本書の発行

第2版:「1-5.ファイアウォールの注意事項」の文脈を修正。

第3版:「ライセンス登録」の章を追加。「本ソフトウェアのバージョンアップ」の内容を大幅修正。他、誤字などの修正。

第4版:Windows Server 2019、IntraGuardian2+ Manager Professional 3.5.3、及びPostgreSQL 3.6.12に対応。

第5版:IntraGuardian2+ Manager Professional 3.6.2、PostgreSQL 12.x、及びPGTuneに対応

IntraGuardian2+ Manager Professional  
Version 3.6.2

インストールガイド  
第5版

初版 2016年8月16日発行

第5版 2021年2月1日発行

日本シー・エー・ディー株式会社  
〒161-0033 東京都新宿区下落合2-14-1 CADビル  
<http://www.ncad.co.jp/>